

秘

卷第一〇二號 共七三六

軍事 第六〇号

歩月二十日

大正九年 高警第三九二七號

京城民情彙報

○公娼廢止運動

京城南大門外所在基督教長老監理各教
 聯合經營セラブランス病院醫師英國人
 コフナルドハ客年十一月頃ヨリ市内基
 背教青年會館等ニ於テ頻リニ公娼廢止
 ノ必要ヲ叫ビ當初主トシテ基督教徒ノ
 ミヲ以テ運動ヲ試シムト企圖セシニ屢
 ヲトシテ進行ヲ見サレヨリ更ニ範圍ヲ

1054

1067

擴大ニ青年學生ト諮リ團體ヲ組織シ此
ノ勢力ヲ利用セムト奔走シツツアリシ
カ略英ノ準備成リレヨリ樺基親外七名
ヲ發起人トシ團名ヲ革清團ト名ツケニ
月五日市内高等普通學校卒業以上ノ資
格ヲ有スル青年級五十名ヲ明月館支店
ニ招待シ別紙譯文ノ如キ趣旨書ヲ配付
シ左ノ通役員ヲ選定シ散會セリ
本件ニ關シスコフナルトハ日本内地ニ
於テハ遊廓ノ税金ヲ以テ宮中ノ費用ニ

1055

1068

迄之ヲ究嘗シツソアルハ世界無比ノ靈
 風ナリ日本及中有識者等ハ公娼廢止ヲ
 唱道ニツソアルモ今ニ成效ヲ見ルニ至
 ラス又従来朝鮮ニハ公娼制度ナカリシ
 カ日本ノ朝鮮統治以來施政ノ效果擧テ
 サルニ反シ獨リ公娼ノ之著シク發達セ
 リ公娼ハ日本官憲カ公認セルモノナレ
 ハ之カ絶對廢止ハ朝鮮ノ獨立ヲ見ルニ
 尸テオレハ不可能ナルモ朝鮮青年カ公
 娼廢止ヲ目的トスル團體ヲ組織シ全鮮

1056

1069

ノ青年ヲ覺醒セシムトスル運動ニ對
 シテハ如何ニ日本人ト雖之ヲ捕縛スル
 カ如キコトハナカルヘシ公娼廢止運動
 ハ社會問題ニシテ決シテ政治問題ニ非
 サルヲ以テ猛烈ニ運動スルニ敢テ支障
 ナシト稱シ公娼制度ヲ攻撃シ煽動的言
 鋒ヲ弄シツツアリト云フ

記

臨時團長
 委員
 權 權
 泰 基
 會 觀

1057

1070

發送

先全全全全

內閣總理大臣、各省大臣、拓殖局長官、樞事、總長、警視總監、
軍司令官、兩河團長、隊司令官、
關東長官、全軍司令官

申洪鄭沈

明禹華相

嬉基基玟

1058

1071

譯文

華清團趣旨書

世界改造ノ機運ニ伴ヒ我半島ニモ社會
 上道德上政治上經濟上其ノ他各方面ニ
 於テ改革刷新ヲ唱フルニ至レリ實際我
 等ハ我等ノ生存ニ改造ヲ行スヘキ幾多
 ノ缺陷ヲ有セリ然レトモ他ノ諸方面ハ
 姑ク置キ我社會ノ道德方面ヲ觀察スル
 ニ東方君子國ト云ヒ又ハ禮義ノ邦ト云
 ヒ世界ニ自尊セシ我國ハ目下如何ナル

1059

1072

4

境遇ニアルヤ半世紀前ノ者カ豫想タモ
 及ハサリシ父子相訟兄弟相闘ノ事實ア
 ルハ實ニ奇怪トセサルヘケンヤ此ヲ以
 テ誰カ權利觀念ノ發達ナリト慶賀セシ
 ヤ一夫一婦ハ古來ノ定則ナルモ一夫多
 妻一妻多夫ノ禽獸性ヲ發揮スルハ却テ
 一般ノ常例タルニ非スヤ此ヲ以テ國民
 繁殖上一大好兆ト見ルヲ得ンヤ半島ノ
 首都タル洛陽城一帯ハ浮浪者以巢窟ト
 變セル感アルニ非スヤ或ハ之ヲ今世紀

1060

1073

文明ノ喜ヲハテ賜物トセシヤ一歩進シ
 テ花柳界ニ見テ所謂公娼制度ニ出現ニ
 依リ多少ノ金錢散力ヲ以テ公々然トシ
 テ貞操ノ賣買ヲ行フニ非スヤ娼婦ノ貞
 操ハ全然商品ノ取扱ヲ受ケツアリ此
 レ何ソヤ我社會ノ貞操觀トシテ容納ス
 ルヲ得ンヤ又人身賣買ナル變約制度大
 此ノ公娼ニ依リテ實行セララルニ非ス
 ヤ此ノ非人道及社會的行爲ヲ以テ吾土
 人文ニ與フル風紀經濟上ノ害毒ハ想像

1061

1074

以上ナリ実ニ歎スハキナリ

此ノ九テノ社會現象ヲ改造スルハ吾輩

青年ノ双肩ニアリト認識シテ此ニ革清

國ヲ發起スルニ至ル本團ノ綱領ハ

一社會各方面ノ道德的刷新ヲ實行ス

一右目的ヲ達成スル第一歩トシテ男女

間ノ徳性ヲ高潔ナラシメ公娼制度ノ

廢止ヲ期ス

故ニ此ノ團體ハ全道普遍的ニ組織セテ

レテ其ノ趣旨普及セハ我社會ハ大ニ革

1062

1075

